国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Press Release

令和3年 11 月 17 日

静岡県中部地域道路啓開検討会 事務局
［国土交通省中部地方整備局静岡国道事務所
静岡県経営管理部中部地域局］

南海トラフ巨大地震等に備え、「道路啓開」実働訓練を実施します
―関係機関で連携し、緊急車両の通行を確保―

1. 概要

南海トラフ沿いの地域においては、大規模地震発生の切迫性が指摘されています。
静岡県中部地域の関係団体は静岡県中部地域道路啓開検討会（別紙①）を設置し、大規模地震の発生後、道路上に放置された車両やガレキ等の障害物を早急に除去し、緊急車両の通行を確保する**「道路啓開（どうろけいかい）」**のルート設定や計画の策定に取り組んできたところです。
この度、**「道路啓開」実動訓練**を実施し、初動期の活動内容の検証や、大規模停電対応時の連携確認等を行い、道路啓開計画の実効性の向上を図ります。

2. 実施日時及び場所

日　時　令和３年１１月２４日（水）　１０：００～１２：００
場　所　藤枝市原　藤枝総合運動公園第５駐車場（別紙②のとおり）

3. 訓練内容

通行規制、UAV（ドローン）調査、緊急パトロール、災害対策基本法76条区間指定、瓦礫撤去、車両排除、電柱撤去、等

4. 参加機関

静岡国道事務所、静岡県、島田建設業協会、日本建設機械レンタル協会、静岡県建設コンサルタンツ協会、中部電力パワーグリッド株式会社、株式会社 NTT フィールドテクノ

5. 配布先

静岡県政記者クラブ、藤枝市記者クラブ

6. 問い合わせ先

国土交通省　中部地方整備局　静岡国道事務所　総括保全対策官　加藤（かとう）　隆雄（たかお）
保全対策官　石橋（いしばし）　孝夫（たかお）
電話（054）－250－8900　ファックス（054）－252－5747
静岡県経営管理部中部地域局　地域課　主幹　大嶽（おおたけ）　光司（こうじ）
電話（054）－644－9168　ファックス（054）－644－9108

道路の異状を発見したら・・・道路緊急ダイヤル　#9910　（通話料無料・２４時間受付）

【別　紙①】

静岡県中部地域道路啓開検討会とは

1. 概要

南海トラフ沿いの地域においては、マグニチュード8～9クラスの地震が今後30年以内に発生する確率は70～80%（平成31年1月1日現在）とされており、大規模地震発生の切迫性が指摘されています。

大規模地震が発生した場合、被災した地域への人命救助や救援物資の輸送を行う為には、管理者の異なる主要な幹線道路が途切れること無く被災地域まで通行出来る必要があります。
その為に、各道路管理者と関係する機関において、通行の障害となる放置車両の撤去や瓦礫の除去、橋梁に生じる段差の解消などの事象を解消する「道路啓開」について、事前に計画し、会議や訓練を通じて実効性のあるものとするように取り組んでいます。

静岡県中部地域道路啓開検討会は、静岡県中部地域の特性を考慮した啓開ルート、情報収集や関係機関の連絡体制などの発災初期（72時間程度）における道路啓開オペレーションについて議論し、道路啓開に関連する認識の共有促進を図ることを目的として設立した検討会です。

＜検討内容の一例＞

- ■ 地域の特性を考慮した啓開ルート、情報収集や関係機関の連絡、体制等を協議
- ■ 具体的な道路啓開方針、各機関の行動について協議し、計画を策定
- ■ 道路啓開に関する諸問題を協議、解決に向けた具体的な計画を策定

2. 構成機関

＜静岡県中部地域道路啓開検討会＞
国土交通省中部地方整備局、静岡県、静岡市、島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、自衛隊、警察、消防、建設業協会、レンタル協会、石油商業組合、解体工事業協会、建設コンサルタンツ協会、高速道路会社、電力会社、通信会社

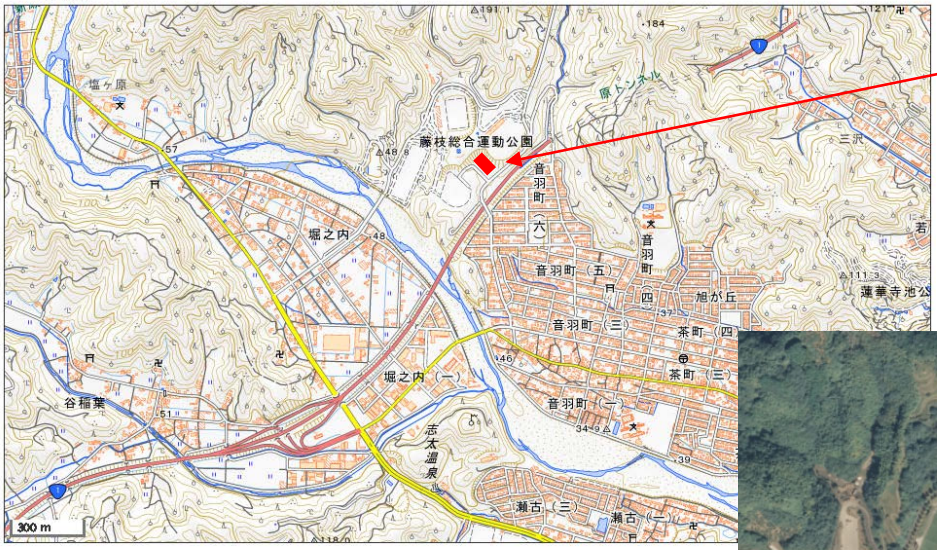
＜事務局＞
国土交通省中部地方整備局静岡国道事務所、静岡県経営管理部中部地域局

【別　紙②】

訓練実施場所及び訓練イメージ

■訓練会場　：　藤枝市原　藤枝総合運動公園第5駐車場

地理院地図
GSI Maps



空中写真出典：地理院タイル「年度別空中写真（2007 年以降）」

≪訓練イメージ≫

被災状況の調査

通行規制

支障車両の撤去

倒壊電柱の撤去